

令和6年度「定時総会」開催

去る5月29日(水)、ホテル東日本宇都宮において令和6年度定時総会が開催されました。

例年、総会時に懇親会は開催していませんでしたが、本年は猛威を振るった新型コロナウイルス感染症も収まり、会員相互に親交を深める、年に一度の絶好の機会である懇親会を開催し、そこで福田富一知事をはじめご来賓の方々にご祝辞を頂きました。また、表彰式につきましても、従来どおりの形で実施することができました。これは、ひとえに皆様の御理解と御協力の賜物であり、お陰様をもちまして、無事に定時総会を終了することができました。

当日の会場には、定款に定める定足数を大きく上回る、委任状による者を含む322名の会員の参加をいただくことができ、総会は無事成立いたしました。

冒頭のあいさつで、谷黒会長は、人口減少・少子高齢化が急速に進行する中、担い手の確保は地域建設業が存続していくうえで、早急に取り組まなければならない最重要課題となっており、そのうえで、諸課題にも的確に対応し、地域建設業としての社会的使命を果たしていくため、会員皆様のご協力の下、新しい時代にふさわしい改革を遂げる「構造改革」を今年度も取り組み、また公共予算面では改正国土強靱化法に基づく実施中期計画の早期策定を関係機関に強く働きかけ、受注機会の拡大を図って参りたいと活動の抱負を述べました。

次に一般社団法人全国建設業協会会長表彰伝達を行い、受賞された12名を代表して(株)生駒組の生駒憲一様が表彰状を会長から受け取りました。続いて公益財団法人建設業福祉共済団理事長表彰を行い、受賞された2名の方を代表して芳賀支部支部長の坂野弘様が表彰状を会長から受け取りました。次に一般社団法人栃木県建設業協会会長表彰を行い、長年にわたり業務に精励されました140名を代表して永年勤続役職員の岡村建設(株)岡村昌仁様が表彰状を会長から受け取りました。

その後、議事に入り、第1号議案「令和5年度事業報告及び計算書類承認の件」が原案どおり可決さ

れました。続いて報告事項「令和6年度事業計画及び収支予算の件」が第2、第3号議案より先に報告され、その中で改正国土強靱化法に基づく実施中期計画の早期策定、労務単価の引き上げなどの要望をはじめ、道路・河川等維持管理業務の共同受注の拡充、人材確保・育成に向けた高校生インターンシップ」およびイメージアップに向けた「建FES GO！」とちぎ子どもの未来創造大学」の開催などに取り組んでいくことが報告されました。

その後、第2号議案「定款の一部改正の件」が原案どおり可決され、第3号議案「役員選任の件」では、本年度は「役員の任期満了」に伴う改選時期のため、役員推薦名簿のとおり承認されました。

役員改選では谷黒会長、竹澤副会長の再任のほか、菊池副会長、石川副会長、坂野副会長、齋藤副会長が新任され、副会長を4名から5名に増員し協会の体制強化を図るとともに、事業運営の継続性を確保しました。

また、同日、建設業労働災害防止協会栃木県支部の総会が、また5月31日には栃木県建設産業団体連合会、栃木県建設業協同組合連合会、栃木県土木施工管理技士会、栃木県森林土木建設業協会および全中建栃木の総会が開催され、それぞれ令和6年度の事業計画・予算案等の案件が承認されました。



令和6年度 総会の様子